（別紙4（2））

事業所名グループホーム桜塚オアシス

目標達成計画

作成日： 平成 22年 6月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	＃1	地域との関わりで常に受動的であるのではなく取り組み内容を理解していただく事で近隣の方に信頼を得れるよう努める。	◍運営推進会議を必ず2カ月に1回定例会議として行う。 ◍地域参加として入居者の出来る事の取り組みを充実する。	◍次回予定を開催時に決める事で定例化が可能と思われる。 ◍現在行っている雑巾作り(婦人会に提供)に加え こより作り(子供会の七夕用)も入居者の負担にならない程度に少しづつ始める。	3ヶ月
2	＃2	ユニット別職員配置を充実させる。(介護スタッフの継続性のある職場づくりを目指す。)	ゆとりのあるケア(個別ケアの充実を図る)をめざし 介護職員に負担なく仕事が継続できるよう工夫する。	ハローワークの求人 職員個々の家庭状況などを考慮し 無理のないシフトを作成するよう取り組む。	6ヶ月
3	＃3	グループホーム火災が相次ぐ中、火を出さない取り組みを徹底する。	◍日常の自主点検方法を見直し複数のスタッフで確認しあう。 ◍防火カーテン・消火器の使用方法の再確認 ◍スプリンクラーの設置	◍消防訓練計画表に基づき定期的に防火管理者を中心に実行しています。 ◍各入居者御家族の御理解のもとカーテンの付け替えを行っている。 ◍市町村の助成手続きも完了し平成23年3月までにスプリンクラーの設置が決定する。	12ヶ月
4	＃4	情報の共有を充実させる事で認知症の周辺症状の出現を防ぐ。	ケアプランの書式変更する事で介護職員一人一人がプランに参加し 日常の対応方法を円滑に行えるよう取り組む。	相性や個性が入居者や職員にもある事を考慮し担当を決める事で 個別ケアの充実につなげる。	6ヶ月
5					ヶ月